

京丹後市

地域で支える地域の交通

ささえ合い交通 について

令和5年11月6日 京丹後市長 中山 泰

ウーバー

スマートフォンを使い **Uber** で配車し

マイカーを使った

ライドシェア型公共交通

= **ささえ合い交通** の実践

道路運送法第78条第2号に基づく

「自家用有償旅客運送」の「交通空白地有償運送」

【運行主体】 NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」

さ
さ
え
合
い
交
通



＜規制改革＞ 自家用車ライドシェアの実現へ向けて

	現行の公共交通空白地有償運送 (法78条2号、法79条の2第1項2号、 規則49条1項2号、規則51条2号等) <small>法:道路運送法 規則:道路運送法施行規則</small>	規制改革提案 ※現行の空白地有償運送の下記部分を変更、 ないしは、下記内容の「第4の自家用有償 旅客運送」の категориを新設する。
合意形成のための組織	地域公共交通会議/運営協議会 (道路運送法第79条の4第1項5号、 規則51条の7)	国家戦略特別区域会議
実施主体	NPO法人等 (法第78条2号、規則48条)	株式会社
ドライバー	NPO法人等の運転者台帳に記載 された者 (規則51条の19第1項)	当該株式会社に登録された個人
サービス対象区域の限定	交通空白地域 (法78条2号、規則49条1項2号)	利用者の観点から、公共交通機関によつては十分な輸送サービスが提供されない場合を、区域会議が認定。当該区域において、サービス実施を可能とする。 (例) 従来の交通空白地に加え、郊外ニュータウン、通勤時間帯における主要幹線道路、観光や特殊需要への対応など
安全運転のための確認、記録、名簿管理	原則、対面・書面実施 (国交省の処理方針等)	ICTを用いた安全運転のための確認、記録、名簿管理を認める。

◆『ささえ合い交通』が実現したもの

—2016年5月26日運行開始—

• 住民の移動をサポート

車を持たない方、特に高齢者の通院や買物の自由な移動手段を確保 **— 乗りたい時に即乗れる —**

↳ 道路運送法 第78条 第2号 (2020年5月法改正の前から記載)

• 観光客、インバウンド客の移動をサポート

観光客、外国人の自由な地域内交通を当初から確保

↳ 道路運送法第78条 第2号に明記 (2020年5月法改正で上と併記)

(改正前は「施行規則」第49条第2項 (市町村長が認めた場合) で利用していた)



住民、特に高齢者の自由な移動や

外国人も通訳不要(アプリ)で移動できインバウンドにも対応し、

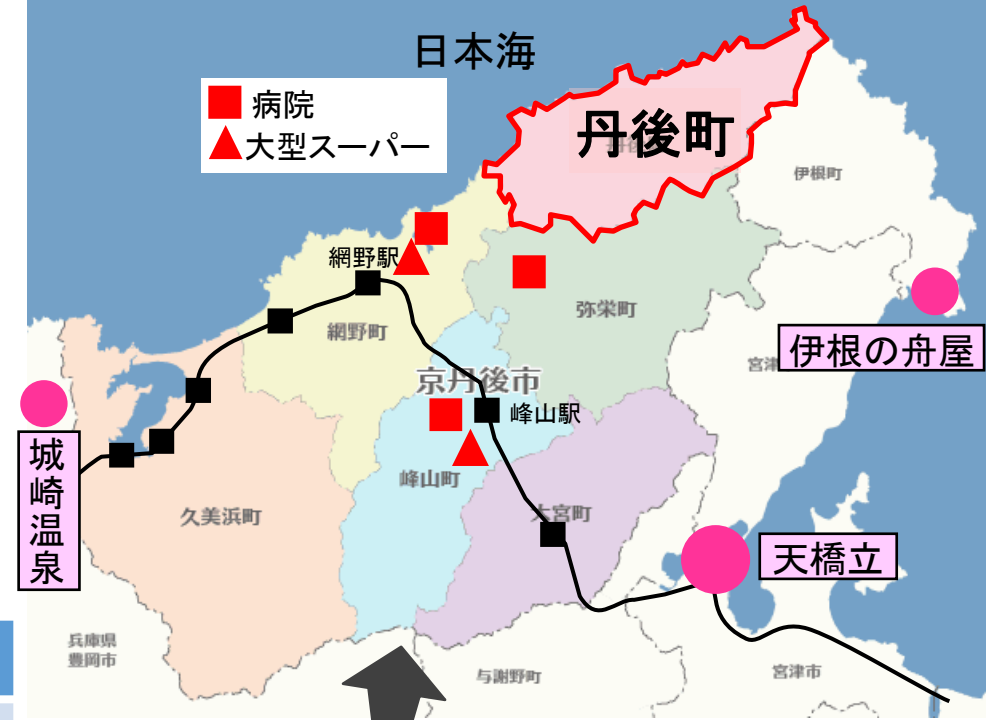
移動の自由さ、楽しさや交流人口を拡充

京丹後市 丹後町について

- 2004年4月：6町の合併により京丹後市が誕生
- 面積：丹後町65km²（対市13%）、京丹後市501km²
 ー京丹後市は全域過疎地域に指定
- 鉄道駅がなく、市中心部から最も遠い北端部に位置
- 人口

総人口	京丹後市	丹後町
合併前(2004.3.31)	65,822人	7,070人
現在(2023.5.31)	51,404人(▼21.9%)	4,568人(▼35.4%)
65歳以上人口	京丹後市	丹後町
合併前(2004.3.31)	17,491人(高齢化率26.5%)	2,158人(高齢化率30.5%)
現在(2023.5.31)	19,538人(高齢化率 %)	2,075人(高齢化率45.4%)

- 日本海に面し、豊かな自然や水産物等を有する
 ー天橋立、伊根、城崎温泉という有名観光地のはざまにある



◆ ささえ合い交通の運行概要

- 法律制度：道路運送法第78条第2号に基づく交通空白地有償運送
= 地元の住民ドライバーがマイカーを使って運行

※地域公共交通会議で承認を受け国土交通省へ登録(許可ではない)

- 配車方法：スマートフォンで Uber (ウーバー) のアプリを使って即時配車

- ・2016年5月26日運行開始当初は スマートフォン所有者のみ
- ・2016年9月18日から代理配車制度を開始(スマホを持つ人が、利用者に代わり配車)

- 運行主体：NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」※公的団体(株式会社は不可)

- 運行区域：区域運行 乗車は丹後町内および町外の弥栄病院
(2023年3月から可能に)

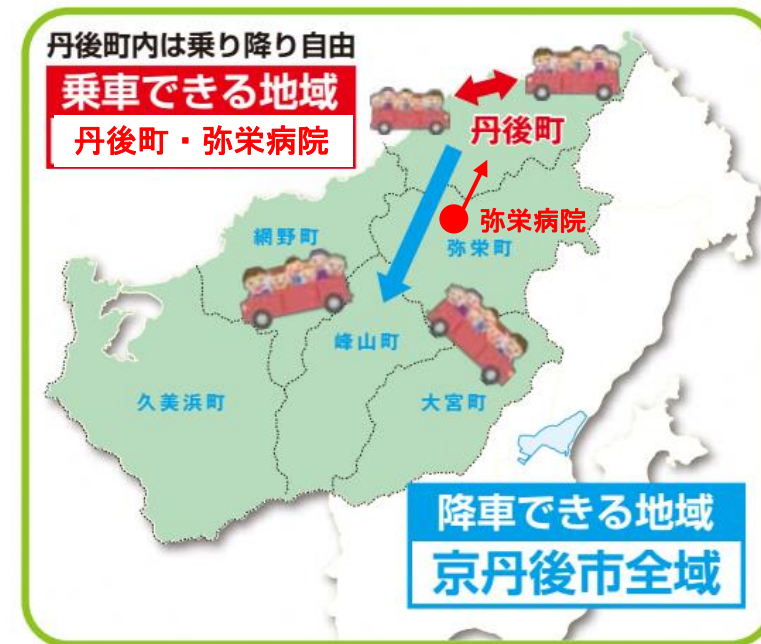
降車は京丹後市全域(市外は不可)

- 料 金：距離制—最初の1.5kmまで480円、以遠は120円/km加算
(概ねタクシー料金の半額)(1台当り)

- 支払方法：当初はクレジットカード決済のみであったが、
・2016年12月21日から現金支払いも可能

- 運行時間：午前8時～午後8時(365日、運休日なし)

- 利用者：丹後町民 & 観光客(国内、国外)



ドライバーの現状(2023年7月現在)

〔資格〕 一種(普通)免許保有者は「**国土交通大臣認定講習**」の受講が必要
二種免許保有者はそれでOK

〔人数〕 16名(男性13名、女性3名)〈**国へ登録**〉

...そのうち13名がNPO会員以外

〔年齢〕 平均年齢63歳〔36歳～71歳〕

(年齢制限を設定:75歳)

〔車両〕 ドライバーが所有する自家用車

(10人乗りもあり、軽自動車も可)



〔保険〕 NPOが団体保険(2種類)に加入 (ドライバーの個人保険に優先して補償)

①自動車保険:対人・対物「無制限」で同乗者も事故補償(所有していない車両も対象に)

②賠償責任保険:乗車前後の傷害等も補償

〔実務〕 ドライバーの自由な(空いた)時間で対応する形態

=ドライバーアプリでの【**オンライン**】 【**オフライン**】の切り替えで対応

運行実現のメリット（まとめ）

- 丹後町内にはタクシー事業所がなく、近隣タクシーの営業区域にはあるが、距離が遠くて敬遠される傾向にあった。

【メリット】

- ① ドア・ツー・ドアで（家の玄関から行先の玄関まで）楽に、気兼ねなく移動できる
- ② 利用者は、行きたい時に、即移動できる（午前8時～午後8時毎日運行・年中無休）
- ③ 発熱等の緊急時に、ドライバーが近くにいるので病院へ直ぐ移送できる安心な体制
- ④ 高齢者の免許返納の促進に貢献
- ⑤ ウーバーアプリを使うので、電話受付・ドライバー呼出の「人的負担がゼロ」
＜オンライン＞ ＜オフライン＞ の操作
- ⑥ ドライバーもスマホでアプリを使用し、運転する・しないの意思表示が簡単
- ⑦ マイカーとスマホを使いどこでも待機でき、誰でもドライバーとして活躍しやすい
＝事務所で待機する必要がなく、自宅や外出先等どこでも自由に受付可能
- ⑧ 遊休資産の有効活用 ＝日頃使われてないマイカーを有効に活用
- ⑨ 行政コストの負担がゼロ ＝行政からの補助金なく運行



直近の課題

● 運行主体からの声

① 丹後町外への往復運行 (病院で一部実現)

丹後町外の病院やスーパー等への往復運行が利用者から望まれている。
2023年3月より、町外の弥栄病院からの帰りの運行が可能になった

② 運賃の高さ感の緩和 (割引券等で一部実現)

タクシーの半額でも運賃が高いという声があり、行政と連携した割引券等の緩和策の継続と拡充が望まれる

③ 観光ニーズは1市に限定されず複数市町へ

＝隣接の市外観光地へも運行可能に

周辺有名観光地との連携、特に交通不便な「半島北沿岸観光」の要望あり

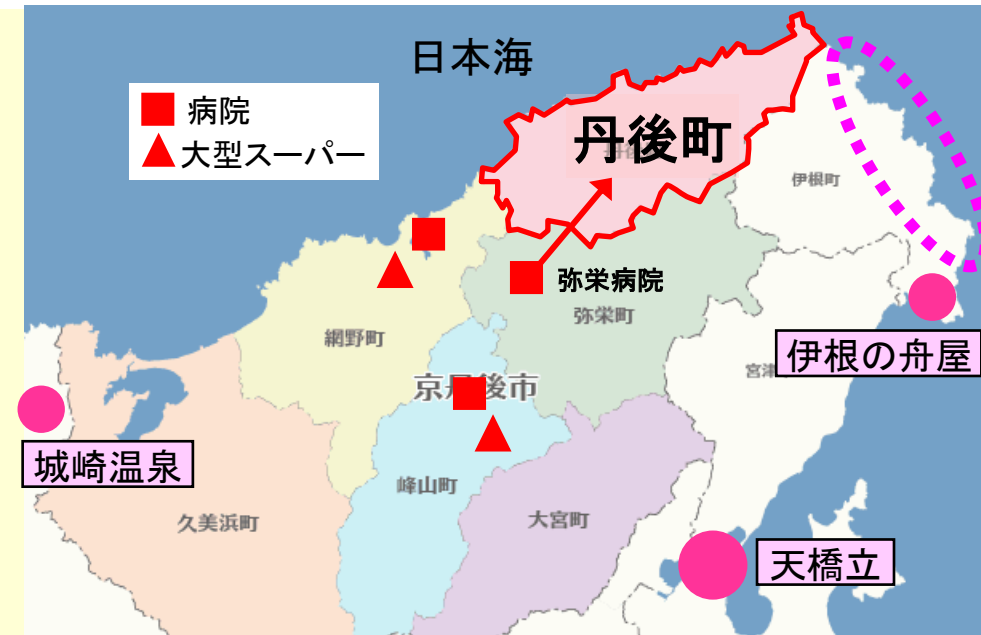
④ 運賃設定は【距離制】に加え、観光利用向けに【時間貸し制】を追加し併用

⑤ ドライバー点呼でのテレビ電話等による遠隔点呼の定常化

⑥ スマホを持たない高齢者への高コスト購入・通信費に対する保有普及策

⇒ タクシー、バス等の事業者との調整が不可欠。利用者目線を原点に、利用者、タクシー・バス等事業者、運行主体など関係者間でWin-Winとなるような制度構築・支援が必要

● 2025年大阪万博や2027年5月「ワールドマスターズゲームズ 関西」でのインバウンド客、来訪者の集中的観光移動への対応 — マスターズゲームズ会場：京丹後市久美浜町(カヌー)



(参考例)

(運行の実施主体) —以下、個別事例の認定に当たっては、地域公共交通会議での合意が前提—

○地域のタクシー、バス会社等も運行が実施可能な形に緩和

⇒ タクシー会社等が自らの第2のビジネスモデルでライドシェアに参画可能とする。タクシー部門とライドシェア部門とを両立して営業統括していける。両部門間のサービス品質の差異を発展的に工夫することで、利用者に選択可能な形にもできる。

○上記は原則、タクシー営業区域に限る。そしてタクシー営業区域とNPO運行区域の一定の場合の乗降者の相互乗り入れを可能に

⇒利用者ニーズの取り合いでなく、ニーズの掘り起こしにつながり、NPO、タクシー等とも相互発展に

資料編



丹後町はこんなところ！

—海に面する急斜面地に家屋が密集し、集落が分散

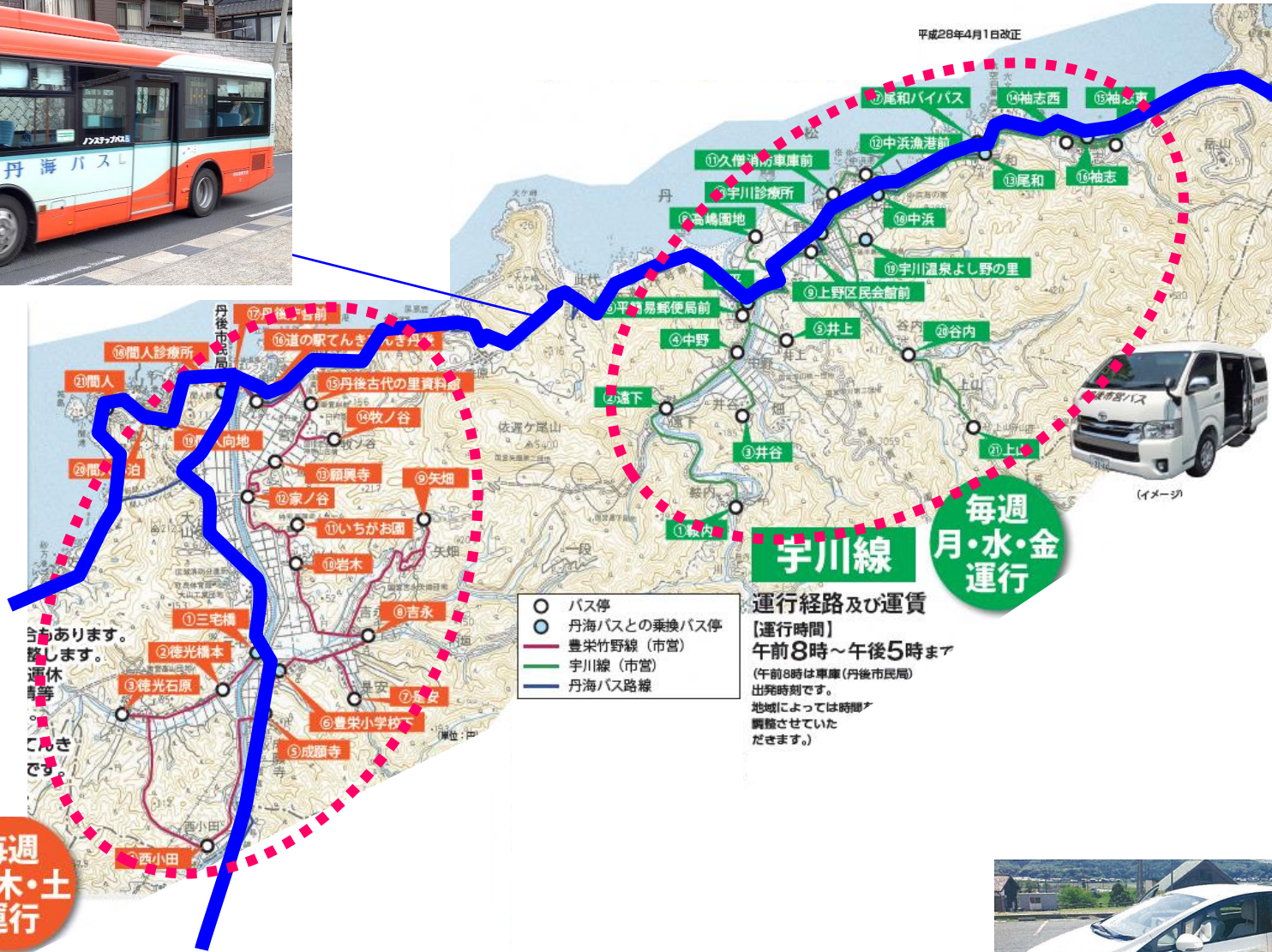
—冬は大雪で移動がさらに大変！



丹後町内では 民間バスと市営バスが走る中で「ささえ合い交通」を運行



①民間路線バス



豊栄竹野線

運行経路及び運賃
【運行時間】
午前8時～午後5時まで

毎週
火・木・土
運行

宇川線

毎週
月・水・金
運行

運行経路及び運賃
【運行時間】
午前8時～午後5時まで
(午前8時は車庫(丹後市民局)
出発時刻です。
地域によっては時間を
調整させていただきます。)

●路線運行

①民間路線バス
どこまで乗っても200円
※便数が少ない

細線 ②市営バス(デマンド型)
前日予約、100～200円
—— (月水金: 東側)
—— (火木土: 西側)



(イメージ)



●区域運行(自由運行)

③ささえ合い交通
※行きたい時に即、
どこへでも行ける
〈羽根が生えたよう〉



先に、市営バスを当NPOが受託して運行

- 民間路線バス(丹海バス)は2006年度より運賃「200円」均一に変更
運行本数は1時間に1本(町域東半分は2~3時間に1本)一幹線道路1本のみ走行
 - 2008年10月:丹後町内の民間タクシー会社の営業所が廃止(撤退)
 - 2014年7月14日から市営デマンドバス(前日予約型)をNPOが受託して運行
 - 運転手は住民
 - 前日17時までに予約が必要
 - 運賃:100円~200円
 - 運行時間:午前8時~午後5時
 - 路線が決まっている
 - 地域(丹後町内)をまたいでの移動ができない
 - 利用できる日が隔日(月・水・金か火・木・土)
 - 日曜・祝日と年末年始は運休
- ⇒この運行実績があったので、今回の運行が短期間に実施可能となった



デマンドバス車両(10人乗り)

安全運行管理の徹底

- ・毎日、ドライバー点呼を実施
 - ーアルコールチェックや会話を通じての健康確認など
- ・警察署による安全講習を適宜開催



・アルコールチェック

・管理簿に記入



・ドライブレコーダーを設置

- ・ドライバー会議を定期開催し、
課題の共有と安全運行の意識を徹底



『ささえ合い交通』が実現するまで

2015年4月 : 「公共交通空白地有償運送」に改正
(→2020年11月「交通空白地有償運送」に改正)

8月頃～: NPO、京丹後市、ウーバーで検討開始

2016年1月29日: 京丹後市地域公共交通会議で承認

2月12日: 国土交通省が自家用有償旅客運送の
登録申請を受理

3月12日: 国土交通省大臣認定講習会を開催
(ドライバーの育成)

3月14～16日: 住民説明会(3会場)を実施

3月29日: 京都運輸支局首席運輸企画専門官
による「安全」をテーマとした講習会の開催

5月 2日: NPO法人に登録通知書が届く

5月13日: NPO向け自動車保険の加入

⇒ 2016年5月26日より「ささえ合い交通」運行開始



実現までの動き(一部)

●国土交通省大臣認定講習会の開催



●京都運輸支局による「安全」講習会の開催



●スマホ操作のドライバー研修



●ドライバー会議の開催



利用者の声・視察など



いつもは病院に行くのにバスで行っていましたが、バス停まで遠く、歩くのが大変でした。しかし、ささえ合い交通は、玄関から病院の入り口までらくらく行けるので、重宝してます。電話ですぐにお願いできるのもいいですね。

田中 八重子 さん

老人クラブの懇親会の行き帰りに利用しました。丁寧に運転してもらってよかったです。

大西 正 さん



外国人も観光利用

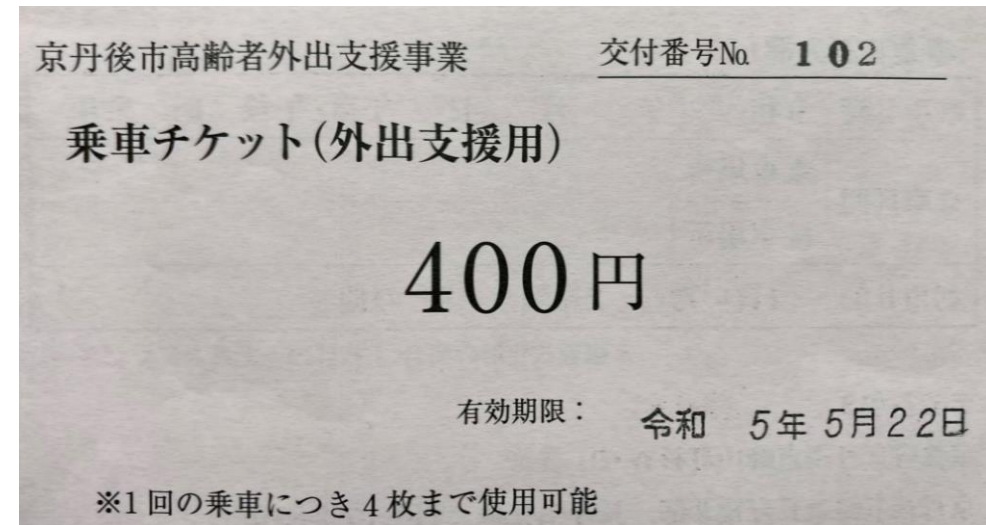
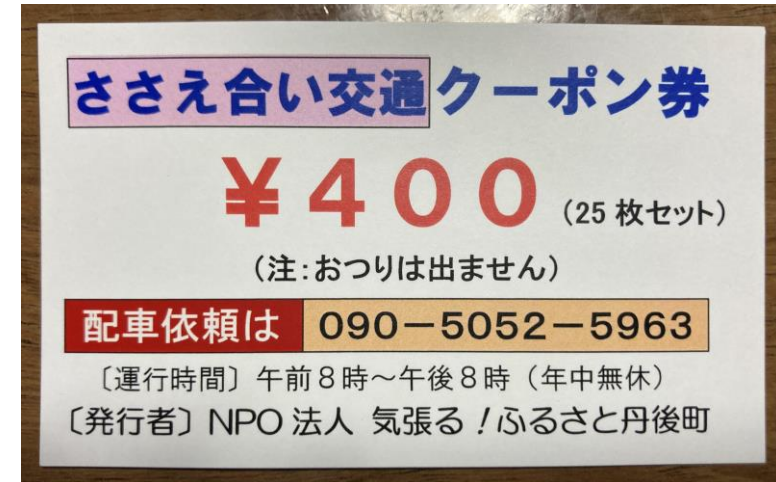
(アプリが多言語対応しており通訳不要)

福祉有償運送・関西STSメンバーが視察



2021年4月から市提供のクーポン券・割引券が使用可能に

- 免許返納時の無料クーポン券（2021年4月から）
 - －2万円分を市が提供
 - －NPOが発行
- 高齢者外出支援割引券（2021年10月から）
 - －市が半額割引券を販売
- 福祉タクシー利用券（2021年4月から）
 - －障がい者等の利用



利用の流れ(1)

※ウーバーアプリは日本全国どこからでも丹後町に直接配車が可能

利用者側



②スマートフォンでアプリを立ち上げ
→行き先を入力

・画面に車のマークが表示される



③現金かクレジットカードかの支払を
「確定」をタッチ
→車を呼び出す(※A)

・画面で車が近づいて来るのが一目でわかる

ドライバー側

①スマートフォンの
ドライバーアプリで
【オンライン】
にする



・出発をタッチ

④利用者からの呼び出し(※A)に、
スマートフォンで応答(タッチ)する

⑤利用者を迎えに行く

⑥乗車前に、
利用者の氏名を確認する



利用の流れ(2) ※運賃はドライバーのアプリで正確に計算(利用者が間違えても大丈夫)

利用者側

⑧ 走行中も
ルートがわかる



⑨ 行き先に到着



⑫ 下車後に
ドライバーを評価
※5段階評価



⑬ 最後に普通メールで「領収書」が届く

ドライバー側

⑦ 利用者が乗車したら、
「開始」をタッチし、スタート

⑩ (到着) 現金支払の場合「運賃」が表示
(クレジットカード支払いの場合は、
これは無し)

【現金の場合】

「現金を受け取る」をタッチ
— 運賃を受け取り、おついを渡す

⑪ 「完了」をタッチ

⑭ 利用者の下車後に、
利用者の評価を行う(5段階)

